

南部鉄器

vol. 3

10.11^{fri}-13^{sun}
10:00-16:30

盛岡・水沢、16工房の
作品が一堂に集まる三日間。

- ・特別展示／鉄瓶百年コレクション
- ・「てつびんの学校」by kanakeno
- ・同時開催／2階小ホール
「JAGDA岩手 伝統工芸ポスター展」



2019年、
「岩手銀行赤レンガ館」は、
岩手の価値を創造し発信する場へ。

明治44年に竣工以来、100年を超えて使い継がれる建物は、
重厚さのみならず行き交う人々を見守り続ける温もりが感じ
られます。その赤レンガ館が担う新たなミッションは、岩手
の暮らしに息づく伝統工芸と人々が出逢う場となること。今
年の秋は、生活に「温かさ」をプラスする鉄器とホームスパン
を揃えてお待ちします。

ironware
Nanbu

I W A T E
TRADITIONAL
CRAFTS
year
2019



入場無料 作品は買い求め
いただけます

会 場／岩手銀行赤レンガ館

盛岡市中ノ橋通1-2-20
TEL.019-622-1236



主 催／ 岩手銀行

後 援／岩手県、盛岡市、奥州市、花巻市、岩手朝日テレビ
事務局／LLP まちの編集室 info@tekuri.net

KOUGEI EXPO IN IWATE

2019年 第36回 伝統的工芸品月間
国民会議全国大会 岩手大会 関連イベント



盛岡の17工房が参加。
技と多様性、歴史と今を感じる。

- ・特別展示／エセル・メレ工房製作の毛布
- ・岩手県産羊毛「i-wool」コーナー
- ・素材や小物「ひつじまわり展」
- ・ワークショップ、セミナーなど

ホーム
スパン

vol. 4

11.2^{sat}-3^{sun}
10:00-16:30

Homespun

伝統と未来、産業と文化、人と人。
岩手銀行赤レンガ館は、それらをつなぐ
創造的クロスポイントとして
地域をバックアップしてまいります。

〔岩手銀行赤レンガ館〕

盛岡出身の葛西萬司と、辰野金吾の設計による国の重要文化財。1911年から100年余りにわたって銀行として使われたのち、2016年より現在の形の施設となり、様々な催し物を開催。



vol. 3

10.11^{fri}-13^{sun}
10:00-16:30

南部鉄器

南部藩主が京都などから召し抱えた釜師による茶の湯釜から始まったといわれる盛岡周辺の南部鉄器。かたや、平安時代の末期に農機具や調理器具から広まった奥州市水沢区の南部鉄器。今回は、それぞれ独自の歴史の中で発展し、時代のニーズに対応してきた両者が、同じ会場に並びます。多様な現代のライフスタイルになじむ、バラエティに富んだ鉄器をご覧ください。

【盛岡】

岩鋳
御釜屋
釜定
kanakeno
紅蓮堂
薫山工房
虎山工房
鈴木主善堂
鈴木盛久工房
田中鉦工房
田山鐵瓶工房
鉄瓶工房高橋
七ツ森工房

【水沢】

及源
小笠原鋳造所
空間鋳造



日常のなかで使い継ぐ、岩手の道具たち、生活の「手」を感じる工芸展です。

焼型 制作実演

鉄器職人が直接ご説明いたします。

飲み比べてみよう!

鉄瓶で沸かした白湯と水道水の味くらべ。



南部鉄器を知り、
その在り方を考える、
「てつびんの学校」開校!

毎日13:30-14:15 / 参加無料
[各回15名] 直接会場へご来場ください
※受付は13:00より。定員になり次第終了

10/11^{fri} 「つくる」を知る

鉄器って、どうやってつくるの? 楽しい鋳造の世界へようこそ。

12^{sat} 「こだわり」を知る

金気止めとか虫食いとか。作り手のこだわりポイントを知ろう!

13^{sun} 「くらす」を考える

さびたらどうしよう!? 鉄器のある暮らしをアドバイス。



特別展示 鐵瓶百年

明治、大正期から現代に至るまで、めったに見られない名作鉄瓶を集めました。文様や造形の多彩な魅力をぜひご覧ください。

同時開催 / (2階小ホール)

JAGDA 日本グラフィックデザイナー協会 岩手
「伝統工芸ポスター展」

・もりおか歴史文化館 / 南部鉄器青年展 10/6(日)~27(日)
・旧石井県令邸 / クラフト見本市「エントワイン」10/10(木)~12(土)

ホームスパン vol. 4

2017年の「Meets the Homespun」再び!

11.2^{sat}-3^{sun}
10:00-16:30



盛岡にあるホームスパン7工房(作家) + その門下生らによるバリエーション豊富なホームスパンが一堂に会します。i-wool(県産羊毛)作品、トークやワークショップ、羊まわりの道具や本の販売など、内容盛りだくさんです。

【参加作家】

蟻川工房
中村工房
みちのくあかね会
田中祐子
植田紀子織物工房
森由美子
舞良雅子

木村泰子
ササキトモミ
富樫由紀子
澤村佳菜
原しおり
mää-mää homespun
小山牧子
立花なつみ
細田藍
ホソカワサチコ

2階 / ひつじまわり展

紡ぎ道具や毛糸など、羊に関わるモノたちが並びます。

出店予定 / 齊藤機料店、ハンセンクラフツジャパン、wood works crando、スピンドラフト岩泉、古書玉椿、スピナッツ(本、羊毛等)

糸紡ぎ体験コーナー

ワークショップ

参加申込はメールで。定員になり次第締め切ります。
詳しくは下記公式サイトをごらんください。

11/2 「県産羊毛でつくるミニマット」 13:00-15:00

[定員6名] 講師 / 「ひつじがりや」松島紬子さん(羊毛作家&生産者) 参加費 / 2,500円

11/3 「羊毛素材学」①初級コース 10:30-12:30 / ②実践コース 10:30-15:30

[定員15名] 講師 / 本出ますみさん(羊の原毛屋、スピナッツ代表)

参加費 / ① 4,000円(レクチャーのみ) ② 10,000円(羊毛サンプルブック材料・制作費込み)

特別展示

エセル・メレ工房製作

「高村智恵子が愛した毛布」



協力 / 花巻高村光太郎記念会

高村光太郎の妻・智恵子が大切にしていたホームスパンの毛布を特別展示。イギリスのエセル・メレ工房にて約100年前に作られた作品です。

i-wool
岩手県産羊毛 アイクワール

岩手県産羊毛を活用するプロジェクトから生まれた製品(ブランケット、ネクタイ、ラグ、小物等)を展示販売。



特別講演

11/2^{sat} プラザおでつて / 3F大会議室
参加無料・当日受付 [定員50名]

蟻川喜久子氏(蟻川工房) 11:00-12:00

「使い継ぐ民藝・ホームスパン」

民藝の精神を受け継ぎ、「羊毛の本質を活かす」仕事を続ける蟻川工房。使ってこそそのホームスパンと実用の美しさについて伺います。



菊池直子氏(岩手県立大学盛岡短期大学部教授) 13:30-15:00

「高村光太郎のホームスパンを探る!」

特別展示のエセル・メレによるホームスパン、高村光太郎愛用のホームスパンについての調査結果を報告。文献を読み解いて掘り下げます。



Meets the
Homespun

ミーツ ザ ホームスパン 公式サイト
<https://tekuri.net/homespun2019/>